

## 基本診療料のコスト調査に関する経緯

### 1. 中医協答申附带意見（平成 22 年 2 月 12 日）

再診料や外来管理加算、入院基本料等の基本診療料については、その在り方について検討を行うこととするほか、財政影響も含め、平成 22 年度診療報酬改定における見直しの影響を検証するとともに、その結果を今後の診療報酬改定に反映させること。

### 2. 「中医協答申附带意見等に基づく次期診療報酬改定に向けた今後の検討課題に関する提案」（平成 22 年 5 月 26 日）（2 号側）

#### 【具体的に検討すべき主な項目】

基本診療料に含まれるとされる建物・設備等のキャピタルコストや技術料の積算根拠の明確化、原価計算に基づく点数設定（医科歯科共通）

#### 【今後実施すべき調査内容】

基本診療料及び技術料に係る中間消耗材料等を含むコスト分析調査（→コスト調査分科会）（医科歯科共通）

### 3. 「中医協における今後の検討課題に関する 1 号側（支払い側）の意見」（平成 22 年 6 月 23 日）

#### 【診療側の提案に対する意見】

基本診療料のあり方や内容等について議論することは賛成だが、診療側の提案では、基本診療料の中で「技術」と「モノ」の評価の分離、キャピタル・コストや人件費等の積算根拠の明確化まで含めて検討すべきとされている。しかしながら、これらの項目については、技術料設定の考え方や基本診療料についての考え方など、さまざまな検討課題が考えられるため、検討の対象を絞り込むなど、慎重に検討すべき。

### 4. 「基本診療料及び技術料に係るコスト分析についての 2 号側の考え方」（平成 22 年 9 月 29 日）

- (1) 我が国の基本診療料の中で各種コスト（技術料、キャピタル・コスト、オペレーティング・コスト）がそれぞれどのように評価されているか（もしくは評価されていないか）についての整理・明確化
- (2) 「医療機関のコスト調査分科会」の調査結果の再集計を行うことにより、上記(1)も踏まえ、現状において基本診療料に含まれている各種コストの具体的な金額の内訳に関する調査
- (3) 諸外国の診療報酬における各種コストの評価方法（とりわけキャピタル・コスト、オペレーティング・コストの取扱い）ならびに診療報酬のコスト別の内訳及びその金額に関する調査（上記(1)及び(2)を踏まえた我が国との比較分析を含む）

（各項目医科歯科共通）

我々としては、このような調査・分析をまず実施して問題点を明らかにした上で、医療提供に必要となるコストの積み上げによる「あるべき基本診療料」に向けた議論とそのために必要な調査の設計を進めていきたいと考えている。

## 5. 「基本診療料及び技術料に係るコスト分析についての二号側の考え方」(平成22年9月29日)に対する主な意見等

### ○白川委員

医療機関の経営という観点からコストを考えて、必要な利益を確保することは、各医療機関が個別にいろいろな努力をされているが、それを全部の診療報酬項目に当てはめて、その中にどれくらい、キャピタルコスト・オペレーティングコストが入っているかを調べたいということは、今の診療報酬体系を全部変えろという話ですけれども、それはそこまで覚悟しておしゃっているのか、私には理解できない。

日本全国でいろいろな形態がある医療機関を全部ならして診療報酬に反映させようという意見は私には理解できない。

### ○西澤委員

私たちは診療報酬体系を根底からひっくり返そうなんて気はないが、初診料、再診料、入院基本料を一点上げる、下げるその根拠は何か。

確かに難しいと行くことは重々承知で、けれどもそろそろこういうことをしなければ医療従事者も国民も納得してくれないのでは、やはり可視化というのは大事ではないか。

ぜひ、コスト調査分科会に持ち帰って、こういう要望があったけれども、再集計でこういうことができるかどうかという議論を分科会でしていただきたい。

### ○関原委員

キャピタルコストを経営上考えることは大事なことだが、診療報酬の議論の場で全国一律に論ずるのは少し違うのでは。財務分析をやれば病院ごとに違う訳ですから、それを一律にコストの分析をしても、必ずしもいい意味のあるアウトプットが出るとは思えない。

### ○遠藤会長

基本診療料についてコスト分析ができるのかどうか、あるいはできるとすればどういう方法が可能なのかといったことをコスト調査分科会で意見聴取を依頼するという対応をしていただきたい。